

令和4年度

第2回高崎市榛名地域振興協議会次第

日 時：令和5年1月20日（金）
午前10時30分～
場 所：榛名支所 4階401会議室

1 開 会

2 挨拶

3 議 事

- (1) 榛名地域に関わる事業報告について
- (2) 榛名地域のまちづくりに関する意見について

4 連絡事項

5 閉 会

【配布資料】

- 資料1 榛名地域に関わる事業報告一覧
- 資料2 榛名地域のまちづくりに関する意見一覧
- 参考資料 令和3年度 高崎市決算の概要について

榛名地域に関わる事業報告一覧

ページ	事業名	所属 (支所)
1	自主防災支援事業	総務部防災安全課 (榛名支所地域振興課)
2	移住・定住を促進するための取り組み	総務部企画調整課 (榛名支所地域振興課) 建設部建築住宅課 (榛名支所建設課)
3	榛名地域におけるスポーツイベント事業	総務部スポーツ課 (榛名支所地域振興課)
4	農業者の成長産業化への取り組み (農業者新規創造活動事業補助)	農政部農林課 (榛名支所産業観光課)
5	観光振興	商工観光部観光課 (榛名支所産業観光課)
6	高浜クリーンセンター建設事業	環境部 環境施設整備室

榛名地域に関わる事業報告書

事業名	自主防災支援事業	所属 (支所)	総務部防災安全課 (榛名支所地域振興課)
実施期間	令和 4年度	事業の種類	ソフト事業

【事業概要】

対象	町内会		
実施目的	具体的手段	その他	
地域防災力の強化を図るため、地域防災の基礎となる、地域住民による町内会単位で組織される自主防災組織の結成及び活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織用防災資機材購入補助金 ・自主防災組織防災訓練経費補助金 ・防災訓練の指導 		

【事業実績】

区分 (千円)	現計 予算額	決算額	令和3年度事業実績
合計	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織用防災資機材購入補助金交付件数 市全体 1件 榛名地域 1件 ・自主防災組織防災訓練経費補助金交付件数 市全体 101件 榛名地域 7件 ・年度末自主防災会結成数 市全体 387町内会(新規3町内会) 73.16% 榛名地域 44町内会(新規1町内会) 70.97%
国	—	—	
県	—	—	
地方債	—	—	
その他	—	—	
一般	—	—	

【事業進捗状況】

区分 (千円)	現計 予算額	令和4年度事業進捗状況
合計	—	自主防災組織用防災資機材購入補助金交付(結成時1回のみ 20万円補助) 市全体 5件 榛名地域 0件 <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織防災訓練経費補助金交付(防災訓練への補助10万円/年) 市全体 104件 榛名地域 6件 ・自主防災会結成数 市全体 389町内会(新規2件) 73.5% 榛名地域 45町内会(新規1件) 72.5%
国	—	
県	—	
地方債	—	
その他	—	
一般	—	

榛名地域に関わる事業報告書

事業名	移住・定住を促進するための取り組み	所属 (支所)	総務部企画調整課 (榛名支所地域振興課) 建設部建築住宅課 (榛名支所建設課)
実施期間	令和 4年度	事業の種類	ソフト事業

【事業概要】

対 象	市民、市内外移住者		
実施目的	具体的手段	そ の 他	
地域の人口減少に対し、定住人口の増加を図るため、市内外からの移住促進や、現在住んでいる人の定住化を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・移住促進資金利子補給金交付事業 ・住環境改善助成事業 ・定住促進空き家活用家賃助成事業 		

【事業実績】

区分 (千円)	現計 予算額	決算額	令和3年度事業実績
合計	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・移住促進資金利子補給金交付事業 平成 28 年度～ 市全体 件数 530 件 金額 84,685 千円 榛名地域 件数 148 件 金額 25,133 千円 ・住環境改善助成事業 平成 23 年度～ 市全体 件数 757 件 金額 141,980 千円 榛名地域 件数 38 件 金額 7,208 千円 ・定住促進空き家活用家賃助成事業 平成 26 年度～ 市全体 件数 5 件 金額 680 千円 榛名地域 件数 2 件 金額 140 千円
国	—	—	
県	—	—	
地方債	—	—	
その他	—	—	
一般	—	—	

【事業進捗状況】

区分 (千円)	現計 予算額	令和4年度事業進捗状況
合計	—	<ul style="list-style-type: none"> ・移住促進資金利子補給金交付事業（融資の利子 5 年間に全額補給） 市全体 件数 100 件 金額 11,409 千円（見込み） 榛名地域 件数 34 件 金額 3,763 千円（見込み） ・住環境改善助成事業（最大 20 万円助成、8 月 1 日から本申請申込み開始） 市全体 件数 801 件 金額 150,203 千円（見込み） 榛名地域 件数 51 件 金額 9,897 千円（見込み） ・定住促進空き家活用家賃助成事業（家賃の 2 分の 1、上限月額 2 万円助成） 市全体 件数 5 件 金額 820 千円（見込み） 榛名地域 件数 2 件 金額 480 千円（見込み）
国	—	
県	—	
地方債	—	
その他	—	
一般	—	

榛名地域に関わる事業報告書

業名	榛名地域におけるスポーツイベント事業	所属 (支所)	総務部スポーツ課 (榛名支所地域振興課)
実施期間	令和4年度	事業の種類	ソフト事業

【事業概要】

対象	スポーツイベント参加者		
実施目的	具体的手段	その他	
観光名所として名高い榛名山と榛名湖の緑豊かな自然環境を活かしたスポーツイベントを開催し、参加者に榛名地域の魅力を感じていただくとともに、高崎市の特徴あるまちづくりを全国に発信し、榛名地域の振興を図るため。	<ul style="list-style-type: none"> ・榛名山ヒルクライムin高崎 ・榛名湖リゾート・トライアスロンin群馬 ・榛名湖マラソン ・はるな梅マラソン 	地元ボランティアスタッフの「おもてなしの心」による大会運営と沿道の声援等の協力が、出場選手からは毎回好評をいただいている。	

【事業実績】

区分 (千円)	現計 予算額	決算額	令和3年度事業実績
合計	67,554	67,554	<ul style="list-style-type: none"> ・第9回榛名山ヒルクライムin高崎 5/17(日) エントリー3,481人 出走者数 501人 ・第9回榛名湖リゾート・トライアスロンin群馬 7/18(日) エントリー699人 出走者数 400人 ・第9回榛名湖マラソン 9/26(日) エントリー567人 出走者数 246人 ・第31回はるな梅マラソン 3/13(日) エントリー1,776人 出走者数 592人 (うち高崎市民)711人
国	—	—	
県	—	—	
地方債	—	—	
その他	—	8,000	
一般	67,554	59,554	

【事業進捗状況】

区分 (千円)	現計 予算額	令和4年度事業進捗状況
合計	51,100	<ul style="list-style-type: none"> ・第10回榛名山ヒルクライムin高崎 5/22(日) エントリー数 2,635人 出走者数 2,253人 ・第10回榛名湖リゾート・トライアスロンin群馬 7/31(日) エントリー数 428人 出走者数 375人 ・第10回榛名湖マラソン 9/25(日) エントリー数 783人 出走者数 648人 ・第32回はるな梅マラソン 3/12(日) 定員 3,000人 予定
国	—	
県	—	
地方債	—	
その他	—	
一般	51,100	

榛名地域に関わる事業報告書

事業名	農業者の成長産業化への取り組み (農業者新規創造活動事業補助)	所属 (支所)	農政部農林課 (榛名支所産業観光課)
実施期間	平成27年度～	事業の種類	ソフト・ハード事業

【事業概要】

対 象	実施目的	具体的手段	そ の 他
	農業者の所得や雇用を増大し、地域活力の向上を図るため、これまでの補助制度を再構築し、地域資源を活用した6次産業化や農産物のブランド化等を図るための支援を行う。	<主要な補助メニュー> ・6次産業化等推進事業 ハード事業 補助率:4/5以内(1,000万円以内) ソフト事業補助 補助率:定額(200万円以内) ・ブランド商品開発事業 補助率:定額(200万円以内)	

【事業実績】

区分 (千円)	現計 予算額	決算額	令和3年度事業実績
合計	150,000	102,562	事業名 (榛名地区の件数)
国	—	—	・6次産業化推進事業補助 (4件) 35,171千円
県	—	—	・ブランド商品開発事業補助 (6件) 9,491千円
地方債	—	—	
その他	—	—	計 44,662千円
一般	150,000	102,562	

【事業進捗状況】

区分 (千円)	現計 予算額	令和4年度事業進捗状況
合計	150,000	事業名 (榛名地区の件数)
国	—	・6次産業化推進事業補助 (5件) 47,445千円
県	—	・ブランド商品開発事業補助 (7件) 8,984千円
地方債	—	計 56,429千円
その他	—	
一般	150,000	

榛名地域に関わる事業報告書

事業名	観光振興	所属 (支所)	商工観光部観光課 (榛名支所産業観光課)
実施期間	平成27年度～	事業の種類	ソフト・ハード事業

【事業概要】

対象	市民、観光客		
実施目的	具体的手段	その他	
魅力ある観光地として、地域資源を生かした観光振興を図り、誘客につなげる。	榛名湖畔や榛名神社等において各種イベントを開催するとともに、観光地にふさわしい施設整備に努める。		

【事業実績】

区分 (千円)	現計 予算額	決算額	令和3年度事業実績
合計	4,370	4,369	<ul style="list-style-type: none"> ・社家町活性化事業 地域環境整備および新そば祭り(11月29日～12月5日) ・榛名湖活性化事業 榛名湖ビッグサマーフェスタ(中止) 榛名湖イルミネーションフェスタ(12月11日～26日) ・施設整備事業 関東ふれあいの道整備工事
国	—	—	
県	—	—	
地方債	—	—	
その他	—	—	
一般	4,370	4,369	

【事業進捗状況】

区分 (千円)	現計 予算額	令和4年度事業進捗状況
合計	8,800	<ul style="list-style-type: none"> ・社家町活性化事業 幽玄の杜音楽会(9月24日) 新そば祭り(11月25日～27日) ・榛名湖活性化事業 榛名湖ビッグサマーフェスタ湖上花火大会(8月5日) 榛名湖イルミネーションフェスタ(12月16日～25日) ・施設整備事業 関東ふれあいの道整備工事
国	—	
県	—	
地方債	—	
その他	—	
一般	8,800	

榛名地域に関わる事業報告書

事業名	高浜クリーンセンター建設事業	所属 (支所)	環境部 環境施設整備室
実施期間	平成30年度～令和6年度	事業の種類	ハード事業

【事業概要】

対 象	実施目的	具体的手段	そ の 他
	本市のごみ処理の大半を担っている高浜クリーンセンターの老朽化に伴い、社会情勢の変化に対応可能な規模及び能力を備えた施設に整備する。	環境省所管の循環型社会形成推進交付金や基金等を有効に活用し、一般財源の支出抑制を図りながら、整備を進めていく。	周辺地域の代表者等からなる「新焼却施設整備に係る意見交換会」を設置し、建設計画や周辺環境の整備等について、協議調整を行い、事業を進めている。

【事業実績】

区分 (千円)	現計 予算額	決算額	令和3年度事業実績
合計	7,431,006	6,863,792	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント設備工事については、各種機器の設計等を進め、発電を行うための発電機タービン等の機器の製作を行った。 ・建設工事については、請負業者が決定し、起工式、地元説明会を開催した。工事においては、地盤の掘削工事等を進め、ごみピットや建物、煙突の基礎工事の一部が完成した。 ・地元地域との意見交換会を2回開催し、工事の進め方、工事車両の通行、工事の進捗等について周知を図った。
国	3,111,630	3,111,630	
県			
地方債	3,686,700	3,285,900	
その他			
一般	632,676	466,262	

【事業進捗状況】

区分 (千円)	現計 予算額	令和4年度事業進捗状況
合計	8,514,218	<p>【現在の進捗状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント設備工事については、来年度から行う機器の設置等に向け、各種機器の設計及び製作を進めている。 ・建設工事については、基礎工事が最終段階となり、現在は、地上の躯体工事に着手するための鉄筋工事やコンクリート工事を進めており、煙突工事においては、約40mの高さまで工事が進んでいる。 <p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント設備工事については、機器の設置等に向け、建設工事と連携を図りながら、搬入計画等の準備を進めていく。 ・建設工事については、地上躯体工事を本格化させ、プラント設備のスムーズな受け入れに向け、工事を進めていく。
国	1,696,617	
県		
地方債	5,681,800	
その他	451,000	
一般	684,801	

榛名地域のまちづくりに関する意見一覧

榛名支所 地域振興課

内容区分	意見	回答
<p>西毛広域幹線道路について</p>	<p>県の事業であることは承知していますが、榛名地域で整備が進められている西毛広域幹線道路についてお聞きします。</p> <p>昨年、高崎北警察署から榛名地域のドドメキ交差点までが開通し、大変便利になりました。現在、その先のドドメキ交差点から国道406号までの整備が進められていますが、今後の予定はどのようになっているのでしょうか。また、406号は交通量が多いことから、西毛広域幹線道路が開通した場合、交差点周辺の渋滞が心配されますが、交差部はどのような構造になるのかを教えてください。また、406号から富岡方面への整備は、いつ頃になるのかお聞きしたいと思います。</p>	<p>西毛広域幹線道路は、前橋、高崎、安中及び富岡を結ぶ総延長27.8kmの道路でございます。</p> <p>ご質問にありましたドドメキ交差点から国道406号までの区間につきましては、令和5年度の開通を目標に事業が進められています。</p> <p>また、国道406号との交差の構造は、最終的には立体交差となりますが、当面の間は、平面交差のT字路となります。</p> <p>さらに、国道406号から富岡方面への整備につきましては、全線開通予定である令和11年度を目標に事業を進めていく方針と伺っております。</p>
<p>榛名の果樹のブランド向上について</p>	<p>高崎市の農家に対する様々な補助金など、手厚いご支援に応えるには、どこの産地にも負けないおいしい果物を作ることだと思います。しかし「食べたら美味しくなかった」では信頼を裏切ることになります。消費者は年々上質なものを求める傾向があり、それに応えられる産地にならないと競争に負けてしまいます。有名産地では、糖度計を導入し、販売時に糖度を表示して品質の高さをアピールしていますが、小規模農家では導入は難しい状況です。産地全体を盛り上げることが、ブランド化につながります。市の皆さんと、これまで以上に情報交換を密にして、客観的なアドバイスをいただければありがたいと思います。</p>	<p>本市ではブランド力の向上に向けた「農業者新規創造活動事業補助金」、安定的な生産力と担い手の確保に「かがやけ新規就農者応援給付金」を、新たな取り組みでは榛名地域のフルーツなどを活用したカフェレストランの整備を高松地区の和田橋周辺の河川敷に計画しています。また、海外へのブランド戦略としてシンガポールへの輸出も行っており、様々なイベントを通して生産者と消費者が直接ふれあう機会も設けています。</p> <p>そのような中、地域ブランドの確立には、地域をあげての取り組みが必須となります。</p> <p>糖度管理もブランド力向上には必要な要素の一つであるので、例えば地域の拠点となる農家を中心に導入させていただき、皆さんで活用できる仕組みづくりなど、農家の方々と連携を図りながら取り組んでまいります。引き続きブランド力向上に向けて研究していきたいと考えております。</p>

令和3年度高崎市決算の概要について

- 1 令和3年度の「一般会計」と「各特別会計」の決算は下表のとおりとなりました。
「一般会計」の歳入は、1,854億233万円、歳出は、1,768億3,892万円で、歳入・歳出の款別構成状況は、2ページ・3ページのグラフのとおりです。
なお、表中の各金額は万円未満を四捨五入しているため、計数整理の結果、表内で異同を生じることがあります。

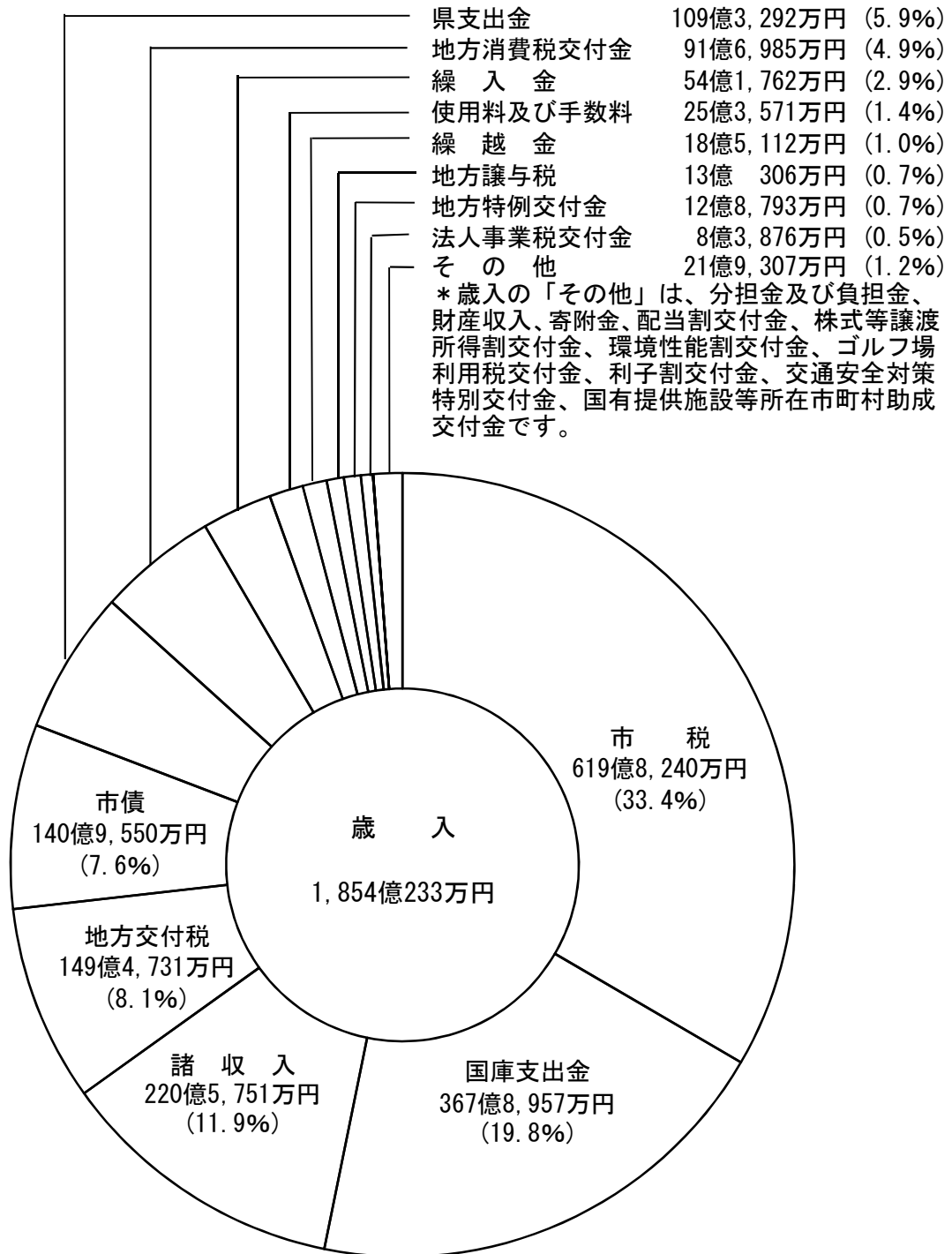
一般会計・各特別会計歳入歳出決算一覧表

(単位 万円)

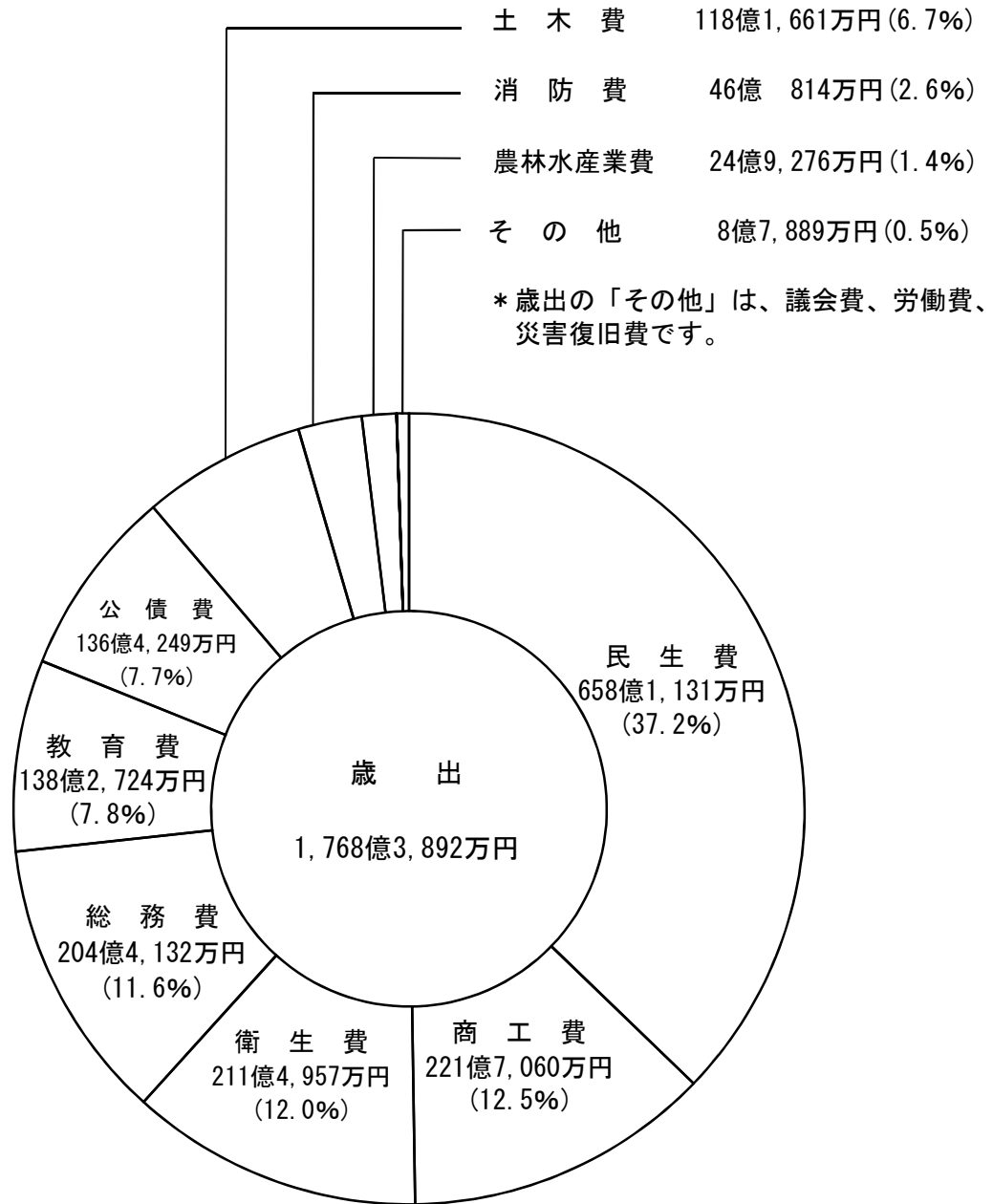
区 分	当 初 予 算 額	決 算 額	
		歳 入	歳 出
一 般 会 計	1,649億2,000	1,854億 233	1,768億3,892
特 別 会 計	745億6,301	765億9,642	751億9,223
国民健康保険事業	337億7,680	353億6,937	347億3,870
介護保険	353億9,167	358億8,068	352億2,032
牛伏ドリームセンター事業	1億1,471	1億 738	9,603
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	7,487	8,957	2,464
後期高齢者医療	50億6,621	50億1,007	49億7,499
農業集落排水事業	1億3,874	1億3,935	1億3,756
合 計	2,394億8,301	2,619億9,875	2,520億3,115

一般会計歳入・歳出決算額の款別構成状況

【歳 入】



【歳出】



◎ 歳入決算額 1,854億 233万円 (A)
 歳出決算額 1,768億3,892万円 (B)
 差引額 (A) - (B) = 85億6,341万円

※差引額のうち、翌年度へ繰越すべき財源として、繰越明許費繰越額及び事故繰越し繰越額4億4,059万円を繰越し、さらに財政調整基金へ50億円積み立て、残り31億2,282万円を翌年度への繰越金としました。

2 普通会計による決算状況

※普通会計とは、他の地方公共団体（県や市町村）などと比較しやすいように、「一般会計」と「特別会計のうち公営事業会計以外の会計」を総合してひとつの会計としてまとめ、全国共通の基準に調整した会計です。

歳 入		(単位 万円)					
区 分	年 度	2年度		3年度			
			構成比	伸 率		構成比	伸 率
			%	%		%	%
1	地 方 税	620億7,061	30.0	△0.7	619億8,240	33.4	△0.1
2	地 方 譲 与 税	12億8,122	0.6	1.2	13億 306	0.7	1.7
3	利子割交付金	4,981	0.0	9.4	4,104	0.0	△17.6
4	配当割交付金	2億1,398	0.1	△4.2	3億3,306	0.2	55.6
5	株式等譲渡 所得割交付金	2億6,063	0.1	95.9	3億6,921	0.2	41.7
6	法 人 事 業 税 交 付 金	4億3,328	0.2	皆増	8億3,876	0.5	93.6
7	地 方 消 費 税 交 付 金	83億9,081	4.1	21.9	91億6,985	4.9	9.3
8	ゴルフ場利用 税 交 付 金	9,625	0.1	△20.7	1億1,936	0.1	24.0
9	自動車税環境 性能割交付金	1億1,834	0.1	110.1	1億3,783	0.1	16.5
10	国有提供施設 等助成交付金	2,915	0.0	△4.8	2,740	0.0	△6.0
11	地方特例交付金	4億5,029	0.2	△53.4	12億8,793	0.7	186.0
12	地 方 交 付 税	134億1,797	6.5	△1.3	149億4,731	8.1	11.4
	普通交付税	115億 727	5.6	△0.1	129億 87	7.0	12.1
	特別交付税	19億1,070	0.9	△7.9	20億4,644	1.1	7.1
13	交通安全対策 特別交付金	8,987	0.0	13.6	8,526	0.0	△5.1
14	分担金・負担金	4億1,445	0.2	△35.7	3億8,681	0.2	△6.7
15	使用料・手数料	25億4,316	1.2	△12.5	25億5,071	1.4	0.3
16	国 庫 支 出 金	640億5,206	30.9	163.2	368億5,050	19.9	△42.5
17	県 支 出 金	109億7,249	5.3	4.1	109億9,433	5.9	0.2
18	財 産 収 入	2億 54	0.1	△18.8	2億5,764	0.1	28.5
19	寄 附 金	3億1,131	0.2	14.6	3億3,170	0.2	6.6
20	繰 入 金	39億2,685	1.9	△55.7	54億1,838	2.9	38.0
21	繰 越 金	13億8,483	0.7	△15.5	18億9,212	1.0	36.6
22	諸 収 入	274億1,677	13.2	69.6	220億3,263	11.9	△19.6
	貸付金元利収入	242億3,870	11.7	100.8	184億7,891	10.0	△23.8
23	地 方 債	89億 870	4.3	△47.2	140億9,550	7.6	58.2
合	計	2,070億3,335	100.0	22.8	1,854億5,278	100.0	△10.4

歳 出

(単位 万円)

区 分	年 度	2年度		3年度			
			構成比	伸 率		構成比	伸 率
			%	%		%	%
1 人 件 費		2 2 3 億 3, 8 4 3	1 1. 1	9. 2	2 3 0 億 9, 9 2 3	1 3. 1	3. 4
うち 職 員 給		1 3 1 億 3, 6 3 6	6. 5	0. 1	1 3 5 億 1, 5 4 8	7. 6	2. 9
2 扶 助 費		3 7 2 億 2, 4 8 3	1 8. 4	3. 6	4 4 5 億 8, 9 6 8	2 5. 2	1 9. 8
3 公 債 費		1 3 7 億 9 4 6	6. 8	0. 8	1 3 6 億 4, 2 4 9	7. 7	△ 0. 5
4 物 件 費		2 0 0 億 9, 6 5 7	1 0. 0	△ 2. 1	2 3 6 億 2 5 2	1 3. 3	1 7. 4
5 維 持 補 修 費		1 0 億 9, 4 1 3	0. 5	△ 1 6. 4	1 6 億 8, 3 3 7	1. 0	5 3. 9
6 補 助 費 等		5 5 6 億 8, 5 4 5	2 7. 6	2 0 2. 1	1 9 1 億 1, 3 5 8	1 0. 8	△ 6 5. 7
7 積 立 金		2 0 億 3, 5 3 3	1. 0	1 5 3. 8	4 5 億 1, 6 7 8	2. 6	1 2 1. 9
8 投 資 ・ 出 資 金							
貸 付 金		2 4 0 億 8, 9 5 3	1 1. 9	8 4. 6	1 8 2 億 6, 5 4 0	1 0. 3	△ 2 4. 2
うち 貸 付 金		2 4 0 億 4, 9 8 2	1 1. 9	8 4. 6	1 8 2 億 4, 5 9 2	1 0. 3	△ 2 4. 1
9 繰 出 金		1 2 4 億 1, 3 8 7	6. 2	2. 9	1 2 6 億 1, 6 1 2	7. 1	1. 6
10 普 通 建 設 事 業 費		1 2 7 億 5, 8 9 4	6. 3	△ 5 4. 0	1 5 6 億 2, 3 6 4	8. 9	2 2. 5
うち 補 助 事 業 費		5 8 億 9, 1 5 7	2. 9	△ 5 4. 9	9 1 億 4, 1 3 7	5. 2	5 5. 2
うち 単 独 事 業 費		6 8 億 6, 7 3 7	3. 4	△ 5 3. 2	6 4 億 8, 2 2 7	3. 7	△ 5. 6
11 災 害 復 旧 費		3 億 9, 4 6 8	0. 2	3 1. 2	7, 1 6 3	0. 0	△ 8 1. 9
合 計		2, 0 1 8 億 4, 1 2 3	1 0 0. 0	2 2. 9	1, 7 6 8 億 2, 4 4 5	1 0 0. 0	△ 1 2. 4
歳 入 歳 出 差 引 剩 余 金		5 1 億 9, 2 1 2	—	1 8. 4	8 6 億 2, 8 3 3	—	6 6. 2

3 令和3年度普通会計による県内他市との比較

(単位 万円)

区 分	高崎市	前橋市	桐生市	伊勢崎市	太田市	
人口 (R4.3.31 現在)	369,688人	332,063人	105,656人	212,178人	222,562人	
歳入総額	1,854億5,278	1,664億6,211	512億1,849	883億6,954	921億2,712	
歳出総額	1,768億2,445	1,614億5,538	476億2,124	849億7,796	883億5,062	
実質収支	81億8,775	41億4,561	35億6,276	31億9,863	29億5,037	
実質収支比率	9.2%	5.1%	13.3%	7.0%	6.3%	
経常収支比率	90.8%	89.3%	90.9%	87.8%	87.5%	
地方債現在高	1,504億2,142	1,557億 464	354億6,008	671億5,752	589億6,700	
実質公債費比率	4.5%	8.0%	4.5%	5.2%	5.6%	
将来負担比率	33.6%	55.6%	—	13.3%	30.4%	
財政力指数	0.836	0.801	0.566	0.835	0.972	
積立金 現在高	財政調整基金	52億2,268	78億9,539	35億6,559	69億3,687	115億9,995
	減債基金	39億5,369	20億8,848	7億2,400	12億5,094	16億7,398
	その他	54億2,176	43億 807	51億4,955	44億9,037	7億7,558

※用語の説明

実質収支	歳入から歳出を差し引いた額を「形式収支」といいますが、この「形式収支」から翌年度へ繰越すべき財源を差し引いた決算額のことをいいます。
実質収支比率	標準財政規模に対する実質収支の割合です。
経常収支比率	地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標です。一般財源収入額のうち経常的な経費に充当される一般財源の割合で、比率が高いほど財政運営が硬直化していると考えられます。
実質公債費比率	「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく財政の健全化を判断する指標の一つで、市債の元利償還金及びこれに準ずる経費の、標準財政規模に対する比率です。この比率が25%以上になると早期健全化団体、35%以上で財政再生団体となります。
将来負担比率	「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく財政の健全化を判断する指標の一つで、地方債残高のほか一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の、標準財政規模に対する比率です。市町村では、350%以上になると財政の早期健全化を図ることとなります。
財政力指数	普通交付税の算定に用いる基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の3カ年平均値で、数値が1に近くあるいは1を超えるほど財政力が強いとされています。
財政調整基金	突発的な災害や緊急を要する経費に備えるために設置された基金です。また、決算剰余金が多いときは積み立て、財源不足時に取り崩すという、年度間の調整的な役割も果たします。
減債基金	市債(借金)の償還(返済)の増加に備えるために設置される基金です。公債費が他の経費を圧迫するような場合には、この基金を取崩して公債費に充てます。